



# 矢倉みらい通信

Yagura Mirai Tsushin

発行  
矢倉学区未来のまち協議会  
連絡先  
TEL・FAX 077-565-1560  
E-mail yagura@machikyou.jp

ホームページ  
http:machikyou.jp/yagura

矢倉学区(3月1日現在)(前月比増減)  
人口 9,889人(+3人)  
男性 4,872人(-10人)  
女性 5,017人(+7人)  
世帯数 4,338世帯(-5世帯)

## 「平成31年度事業方針に向けての思い」

矢倉学区未来のまち協議会  
会長 中谷 緑郎

平成31年度を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。矢倉学区未来のまち協議会が発足して早や8年目を迎えます。「矢倉まちづくりセンター」が指定管理者として運営し2年が経過しました。今年度は私にとって三期目(6年目)を迎えます。私は「未来ある矢倉」を創り上げるには地域の皆様が共に支え合い、助け合い、だれもが地域に愛着を持ち、子どもからお年寄りまで笑顔で元気に暮らせるまちづくりを目指すことが使命であると思います。本年度も皆さんと共に次にあげる事業方針に取り組んでいきたいと思ひます。

- 1.だれもが安全安心で健康的な暮らしができる地域での取り組みを推進する
- 2.次世代の地域を担ってくれる人材を育成していくこと
- 3.一人一人が生き生きと触れ合い、支えあい、暮らそうみんなのまち矢倉

この3点を実現するには是非とも皆さんのご理解とご協力がなければできません。宜しくお願ひ申し上げます。結びになりましたが、しっかりと地に足をつけて前を向き皆さんの期待に応えられるように頑張ったいと思ひますので、昨年と変わらぬご支援ご協力をお願ひ申し上げます。今年も亥々(いい)年になることを願ひまして挨拶と致します。

## 「未来を見据えたまちづくり」

草津市立矢倉まちづくりセンター  
センター長 三小田 幸雄

まちづくりセンターは、矢倉学区未来のまち協議会がその管理運営を担い、地域のまちづくりの事務局として、これまでの情報発信に加えて多様化する地域課題を解決し、住みよいまちを築くことを目的として運営しています。まちづくりセンターの活動の一部を紹介しますと、情報発信に「まちづくりセンター」のホームページを開設し、貸館状況等の情報を新たに提供しています。また、センター事業については、

- ・やすらぎ学級の開講  
高齢者の学び・楽しみ・憩いの場として開講し、昨年度は受講生55人が講座と趣味のサークルを楽しみました。

- ・大人のための自分磨き  
自ら様々な教養を身に着け、心豊かに暮らすことを目的として開催し、毎回好評です。

- ・高齢者のつどいとふれあい喫茶  
健康寿命を延ばせるよう、「昔懐かし歌声喫茶」や「はらの底から大笑い」そんな楽しい時間を仲間達とで。そしてまち協や運営委員会等で協力して実施の「やぐら朝市」も毎回50人以上の来客で、まるで、温泉地の朝市の賑わいを思わせます。また、「なかよし広場プラスにここレストラン」がプレオープンし、今年度からの定期開催に向け動き出しました。まちづくりセンターは、サークル活動を含めた地域活動の拠点として、地域に愛されるセンターでありたいと思ひのもと、今後も職員一同力を合わせ職務をまい進していきたく、引き続きご指導、ご協力をお願ひいたします。

### 矢倉学区未来のまち協議会役員

会長 副会長 副会長 副会長



中谷 緑郎



柴田 弘三



梅村 進



中村 滝雄

センター長  
事務局長

### 矢倉まちづくりセンター



三小田 幸雄

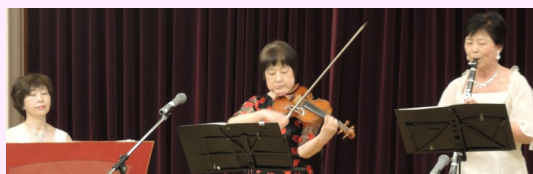
職員 大城 和美

職員 宇川 美江

職員 山口 恒之

### 矢倉やすらぎ学級第8講、閉講式・祝賀会開催

2月27日(水)、びわ湖大津館にて標記講座を開催しました。「アンサンブル“dolce”(ドルチェ)」さんによる、ヴァイオリン・クラリネット・ピアノの三重奏コンサートで、受講生の思い出の映画音楽や名曲の数々を、優しい生演奏で受講生を包み込んで頂き、閉講式に華を添えて頂きました。参加型のコンサートでしたので、生演奏で歌う贅沢で楽しい時間を過ごしました。祝賀会では、びわ湖を一望できる眺めの良いレストランで、みんなで美味しい食事を頂いたり、運営委員さんによるお楽しみ抽選会で大いに盛り上がり、交流を深めました。平成31年度のやすらぎ学級も、楽しい企画を考えております！お楽しみに！



優雅な演奏に酔いしれました♪



やすらぎ学級で癒された一年でした

### 高齢者の集い講座「笑って！笑って！笑って！」

2月22日(金)、まちづくりセンター大会議室にて「高齢者のつどい・ふれあい喫茶『憩』」を28人の参加を得て開催しました。

第一部では、滋賀県警察防犯アドバイザーの山本芳則氏を迎え「特殊詐欺の被害に遭わないために」をテーマに講演をしていただきました。悲惨な被害者にならないための撃退方法などをユーモアを交えながら分かりやすく説明していただきました。参加者からは「お金がらみの電話があったら、慌てないで疑ってみます」などの感想がありました。

コーヒーとお菓子でひと息ついたあと、第二部では立命館大学落語研究会の皆さんによる落語演芸会を楽しんでいただきました。演目は、「無精床」(行きつけの床屋が混んでいるので、代わりに入った床屋がたいへんな店の話)など古典落語が3席で、どれも面白く、参加者の笑いが絶えず、楽しいひと時でした。

今年度も楽しいイベントを用意して、皆様のご参加をお待ちしております。



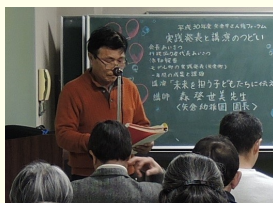
滑らかな話芸に心も弾みます！

### 矢倉学区人権フォーラム 「実践発表と講演の集い」開催

2月20日(水)、矢倉まちづくりセンターにて掲題の集いを開催しました。今年一年間の人権活動の総括として、矢倉町の推進員さんから町内学習懇談会の活動報告がありました。「正しい情報を知る機会となり、町内のコミュニケーションとして有意義であった。」との感想などを述べていただきました。

次に、矢倉幼稚園の森 登世美園長先生から「未来を担う子どもたちに伝えたいこと」をテーマで講演をしていただきました。耳の不自由なお子さんを持つ保護者に対する生徒の考え方を伝えていくお話には、大変感銘を受けました。他にも、これまでの矢倉幼稚園の活動DVDを見ながら、子どもたちの将来に活かすための交流の大切さを語っていただきました。

今年度の人権フォーラムの活動はこれで終了となりますが、来年度も皆様のご協力のもとに人権の大切さを学ぶ活動を続けてまいります。今後とも、一層のご理解とご協力をお願いいたします。



矢倉町からの実践発表



熱の入ったお話でした

### 矢倉地域文化継承プロジェクト 映画製作

地域の伝統文化を継承する

### 自主映画「サア〜行こか！」

完成に向けて編集中です！



写真はどれも映画撮影の様子

製作活動3年目を迎え、間もなく完成に向けて編集作業は順調に進んでいます。

今年の秋！いよいよ公開予定です。乞うご期待！

(矢倉地域文化継承プロジェクト)



**「やぐらあそびの探検隊！」**

2月23日(土)に矢倉小体育館にて掲題の催しを138人の参加を得て開催しました。「たび丸とだるまさん転んだ」で楽しんだ後、「ストラックアウト」「スライムづくり」、「かみかざり作り」「ペットボトルキャップ工作」「紙飛行機を作って飛ばす」「クリップバッタ飛ばし」の6つのブースがオープンし、どこも子どもらの歓声と楽しむ姿が印象的でした。

ブースの合間には「たび丸とじゃんけん大会」や、ビンゴ大会を行い、大盛況でした。初めての催しで、どうなることかと不安もありましたが、協力いただいた皆さまのおかげで、楽しい時間を過ごすことができました。

(矢倉学区子ども会指導者連絡協議会)



集中しての作業！



みんな元気な子らがワンサカワンサカ集合♪

**矢倉の片隅から矢倉の美しいまちづくりを目指して**

私達、矢倉町内の「静ヶ町花を愛でる会」グループの平均年齢は、まもなく後期高齢者の年齢を迎えつつある花づくりに趣味をもつ老人5人衆です。

市管理の“まちかどグリーン”を使って冬・春はパンジー・さくら草・水仙等宿根株を含め約800株、夏・秋にはサルビア・マリゴールド・アメリカンフヨウ等1100株を育て、周辺の除草、清掃も併せ実施しています。地域住民の皆さんや通勤途上のサラリーマン、登下校の小学生などからは「美しい公園ですね」「綺麗な花がいっぱい」などと声を掛けられると、やり甲斐や生き甲斐を感じます。今後とも、趣味や道楽を満喫しながら、健やかで幸せを感じる矢倉の美しいまちづくりを目指し、活動していきたいと思っています。



(美しいまち推進部会)

元気な五人衆のみなさん♪

**「なかよし広場」プラス「にこにこレストラン」開催！**

3月9日(土)、矢倉まちづくりセンターにて掲題のイベントを開催しました。

「なかよし広場」は、毎月第4水曜日に実施している「子どもの日」を拡大し、卓球やお絵かきの他に、絵本の読み聞かせやプラ板作りなどが体験でき、「にこにこレストラン」では未就学児以上が100円でカレーライスを食べることができました。このイベントに参加者、スタッフ合わせて83人が集い、大盛況でした。

参加者からは「100円で食事ができて、小さい子どもでも安心して遊べるのはとても嬉しいです」「大勢で食べるカレーライスは美味しい！」と喜びの声を頂きました。今年度も開催予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

(なかよし広場プラスにこにこレストラン運営委員会)



みんな遊びに夢中！



これで1皿100円！

**平成30年度 福祉講座 開催**

2月23日(土)矢倉まちづくりセンターで、小学生から高齢者まで56人の参加のもと、福祉講座を開催いたしました。「矢倉のまちを見直そう」というテーマで、「ふだんのくらしをすることで、ふだんのくらしのしあわせを考えてみましょう」という意図のもと、草津市社会福祉協議会作成の『矢倉のかわりすごろくゲーム』に挑戦しました。初対面の8～9人ずつがグループになり、矢倉の歴史や特徴、社会資源、福祉などの問題について、まとめた答えを発表したり補足したりして考えを深めあいながら交流しました。参加者からは「矢倉をたくさん知ることができた」「こんな講座は初めてで楽しかった」という感想があり、普段から住民同士のコミュニケーションを大事にし、「手伝って！」などと気軽に言える優しい矢倉づくりに貢献したいと強く感じました。

(矢倉社協・福祉ボランティア委員会)

橋川礼子)



ユニークな講座で盛り上がりました♪

**こんにちは 民生委員です**

今月から民生委員の部会活動を紹介します。

充実した委員活動を行なうために、全員が8つの部会・委員会等のいずれかに属し、専門的立場で福祉課題を調査・研究し、委員の資質向上を図っています。

今回は「地域福祉部会」です。委員活動の要である「相談・支援」や「見守り」を主なテーマとして、「地域福祉活動とはなにか」を念頭に、「相談・支援」に関するさまざまな学習をしています。また社会の動向や福祉施策を踏まえて「活動のあるべき姿」を考え活用を図っています。さらに、活動に資するよう他学区の委員とも情報・意見交換をしています。

「見守り」には、高齢者の安否把握、市や市社協の福祉制度(緊急通報システム、徘徊高齢者SOSネットワーク事前登録、地域福祉権利擁護事業等)の紹介・説明などの活動があります。災害時要援護者の避難支援に関する学習もしています。



# キラリン☆ぴと

地域の皆さんとともに、笑い、学び、健康に暮らす！



玄甫町  
岡島 博男さん

今月号は、玄甫町の岡島博男さんです。植物と地域をこよなく愛する岡島さんは、たくさんのコミュニティセンターで、植物に関する講座で活躍をされています。取材で伺った日は、玄甫町の集会所で地域サロン「げんぼ なかま」の文化講座『我がまち草津・矢倉』をテーマで参加者が楽しめる写真や資料を駆使し、張りのある声で講演をされ、参加者を飽かさせない巧みな話術で1時間が短く感じるほどでした。また、「健康寿命を長く保つために、あらゆる取り組みを工夫したい。」との思いを常にお持ちだそうです。

岡島さんに元気の秘訣をお聞きすると「とにかく歩くことです。これまで主な街道は踏破した。」ことや、これからも「桜の古木巡りを続けたい。」などを、意欲的にキラキラした笑顔で話してくださいました。

矢倉学区の皆さんへのメッセージとしては「自分のやりたいことを見つけること！」「自分の職場以外の人と仲間を作ること！」「やったことを記録に残し、健康寿命を伸ばす努力をすること！」などと明快に語ってくださいました。

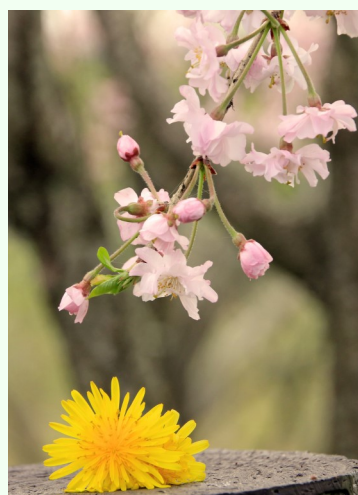
御年83歳の元気な岡島さん！今後とも、益々のご活躍をご祈念いたしております。（M.U）



「篠竹」を手に熟弁中

## 矢倉 ほっと一息

桜の季節が到来しました。淡いピンクにアクセントを加えるタンポポもいいですね。華やかな桜と、可憐なタンポポ。色とりどりの春です。（K・I）



## 伝言板

### 平成31年度 子育てサロン 「よせて！いいよ！」年間予定表

毎月第4水曜日  
10:30～12:00  
(変更有り)

矢倉まちづくり  
センターにきてね！  
みんなで  
**ワイワイ**  
過ごしましょう



月	日	内容
4	24	もうすぐこどもの日
5	22	おはなししよう
6	26	出前講座(おたのしみ)
7	17	プールで遊ぼう
8	28	子育てシアター
9	25	おいもタイム
10	23	よ～い どん！
11	27	出前講座(おたのしみ)
12	18	クリスマス会
1	22	節分遊び
2	26	ひなまつり
3	18	「ありがとう またね！」

## 新連載 矢倉みんなの保健室

お子さんは、

**麻しん・風しん混合ワクチンを接種していますか？**

**大人の麻疹(はしか)ーあなたは抗体を持っていますか？**

麻疹(はしか)の感染ニュースが相次ぎ、話題となりました。麻疹はインフルエンザの10倍の感染力を持ち、免疫を持たない人がウイルスに接触するとほぼ100%感染します。麻疹は、麻疹ウイルスの空気感染によって起こります。国内由来の麻疹はワクチンによって制御されていましたが、海外からウイルスが持ち込まれる機会が増え、2018年は昨年を上回るペースで感染者が報告されています。これは旅行者が持ち込んだウイルスが原因でした。

子どもだけでなく麻疹にかかる大人が多いです。なぜかという2005年以前は、予防接種が任意であり、2006年までは1回接種であったため免疫がついてない人もいたためです。

「はしかワクチン」の2回接種制度は、2006年4月から、1歳児と小学校入学前の幼児を対象に行われるようになりました。一度、母子健康手帳で確認してみてください。

- ①1歳になったらなるべく早く、MR(麻しんと風しん混合)の第1期の予防接種を受けましょう。
- ②小学1年生までに、MR(\*麻しんと風しん混合)第2期の予防接種を受けましょう。

### 主な症状

高熱、せき、鼻汁、目やになどかぜのような症状  
再び発熱し発疹、口内白いはん点、  
高熱が4～5日続く

予防接種は自然に感染すると重症化しやすい病気に対してつくられています。病気にかかる前に免疫をつけたら、感染を防いだり、かかってしまっても軽くてすむようにするものです。

### 厚生労働省・麻しん(はしか)Q&A

\*草津市健康福祉部 健康増進課  
健康増進係

〒525-8588 草津市草津三丁目13番30号

電話番号:077-561-2323 ファクス:077-561-2482

(K, F)